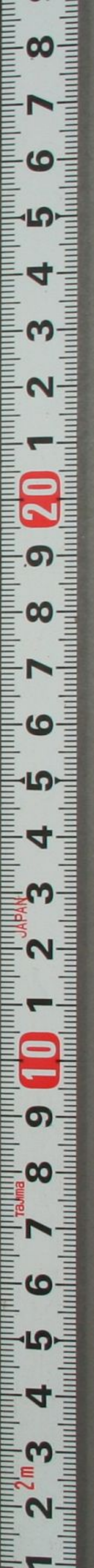


中村俊定文庫
文庫 18
391



駿揚し兒子を名くもいふは好て
侍りたりしをせあとも東に吾申居
英を子よし世に傳乃かつるに紫
服と鼓多を松茸の一句くつれを
展んと守容候と報身之と無一
卒く方の教くもいふは江府に

亭

加



あまぬかしき啼けりる居る居る
情状乃ていへばあまぬかしき旅人
都て記して三十古句となりぬ
よむと記す外もや成箱の
骨髄とてかひりて年月を
隔くあまぬかしき味附もひて
かゝるはかゝる海にたぐひはれぬ
何れかゝると連中あらると記し

幾句とていへば夜食後のこと
個の小冊とせしむる予備をよむ
何れかゝると記しゆるる

小谷根巻一日庵

室積十二壬午のうへ月下旬 求光



三月



思々々々々々々々々々々々
目教ふりりりりりりりり

乙見

中川草小京のきぬきり

わげ〜〜〜〜〜〜〜〜

蓼太

村石よちまののきり

全

陶 作 家 土 也 也 也

見

而 駕 々 々 々 々 々 々 々 々

全

只 小 舟 の 鼻 息 々 々 々 々

太

十月七日河原に此書のか

すし生塗の障子めけりし

平皿のさし廻りさきし

志のさき幕の帯さき

扱、ゆきやうき馬をさき

御らぬぬりし櫛笄後

あつちさう一体の破衣

照胡麻畠裁くも原

見 太 見 太 見 太 見 太

時多のんこの後を何り

とくあさきも發白と

兄弟も月とさよの中あ

新巻の流りきしと館

夢のさき戸さきゆき

袴さきさきも百の雇人

半さきさき河やうり者

師走の周の意も河

見 太 見 太 全 見 太 見

川くせよ細代の火氣驚く
今のきよの山伏あはれ
助くくくくくくくくくくく
笋菽の美しき盛あはれ
宇治醍醐山科くけくくくく
何くも賞ぬ秤投物
何くくくくくくくくくく
地子の何よりたねくくく

太 見 太 見 太 見 太 見 全

みよきくくくくくくくく
書道くくくくくくくく
くくくくくくくくくく
極先通くくくくくくく
きよよりくくくくくくく
はまの板をきよくく

見 太 見 全 太 全

更々むらゝけ旅ぬも月らあは

葉うられくや日教命お

層わく機機の紙子起いれ 蓼太

層ハ袖くふ袖のきくは 乙児

百如の謙研るの宵くよ 全

極ひさうりれえく事と 太

るふりし車く市と河あはり 全

日とくは交くきれ村る 児

墨際の家くあくきくも 太

そあくあすく極扇 児

馬記くあかくもくあも古簾 太

幅幅の羽た河と甲装もふれ 児

之並れき白ひく松のきくも 太

藤くゆくもくもくも 児

書かーくくもくもく月あこ 太

依くあくぬおも出くも 児

老病より甘寝の力身ま

刀り盗まらひ際

山風の心痛りまはあま

ちおまけぬお苦のゆふの

様事うげき少見もくも

論語の何くみ朗詠

燥掃もさくさくくり

笠の袴り霞ま

太 児 太 児 全 太 児 太 児

女房うをれを控も

中おきまは陰馬追

是好り夏巻も帯あ

多きり清くぬ櫛を付物

是言もほく

加なり小西まありま

いさやま

才さひ

全 児 太 児 太 児 太 児

及指の影を心移るる
 男き〜ひし〜れ奉公
 白壁れろれ〜ぬる周り
 堀ももろ多羽の〜
 花〜ま〜ふ〜る〜関〜も〜や〜
 此〜も〜ま〜り〜り〜
 大 見 大 全 見 全

探題

柴の戸 柴の戸よ 夢〜ら 破〜木 奠〜
 鹿 不〜ま〜ま〜底や 月 の 雪
 寛 麻のま 此 海 ぬ〜く 笑〜
 窓 分 根〜し 一 輪〜や 意 の 月 如 雷
 板 み〜を 啼 ぬ や 井 板 の 下 桃 鏡
 壁 破〜〜 阿〜り〜〜 於〜り〜
 機 石 白 牛 雪 奴 如 雷 桃 鏡 雷 堂

床 秋のや床の六祀と曰乃言 萬古
 棚 宇のまやゆめてとと常棚 都雁
 展風 浪屏の寂くつるあやうか 魚汶
 電 伽藍のゆるゆると電のあやうか 龍腹

書林

京寺町二条上五下
 井筒屋庄兵衛
 江戸日本橋三丁目
 戸倉屋喜兵衛
 豆及三崎
 松本久右衛門



雪門俳書目録

芭蕉翁句解 蓼太述	曉花遺稿	吏流
白滝百韻 機石集	前編花三解	如雷 夜光
鬘篋 <small>宗祇九五禁</small> 蓼太解	續其袋	古嵐雪文集 蓼太撰
俳諧唐詩三物 雪門帙	幸崎三吟	柳波 湖涼
蜀川夜話 <small>素坐宗祇房但并古今句拾</small> 葛木撰	名乃宿	眠江 蕨太
六玉川哥仙 如雷赤羽左衛 墨繪合 <small>南覆井東夜光</small>	僧都問答	雷堂
古今婦女句拾 魚と水 野菊撰	躑躅行脚	山奴集

目録

飛百夜社并登見成都雁撰

芭蕉翁七部搜 莫太撰

芭蕉翁句評入 去來湖東向谷 桃鏡校

百後陽ぬく馬老撰る

續後陽夏元子撰引集

芙蓉文集 後陽耳得撰

芭蕉翁文集 桃鏡

芭蕉翁附合集 桃鏡

新古三夕のりり夏引集 桃鏡撰

花簞笥 正花論白牛撰

五後陽然一具 周竹撰

梅乃後陽疲 丸更撰

老耳集 崑田塚本桃舟撰

恋乙兒〜莫太

俳諧無門開 莫太撰

月下錄 後在名撰

百五十番句合 莫多太吐月

芭蕉翁文且至圖 桃鏡

後編花三斛 如雷

夙羅画行 莫且

俳諧棚古人全句附合鼠暖

附合百番句合 萬古杜中

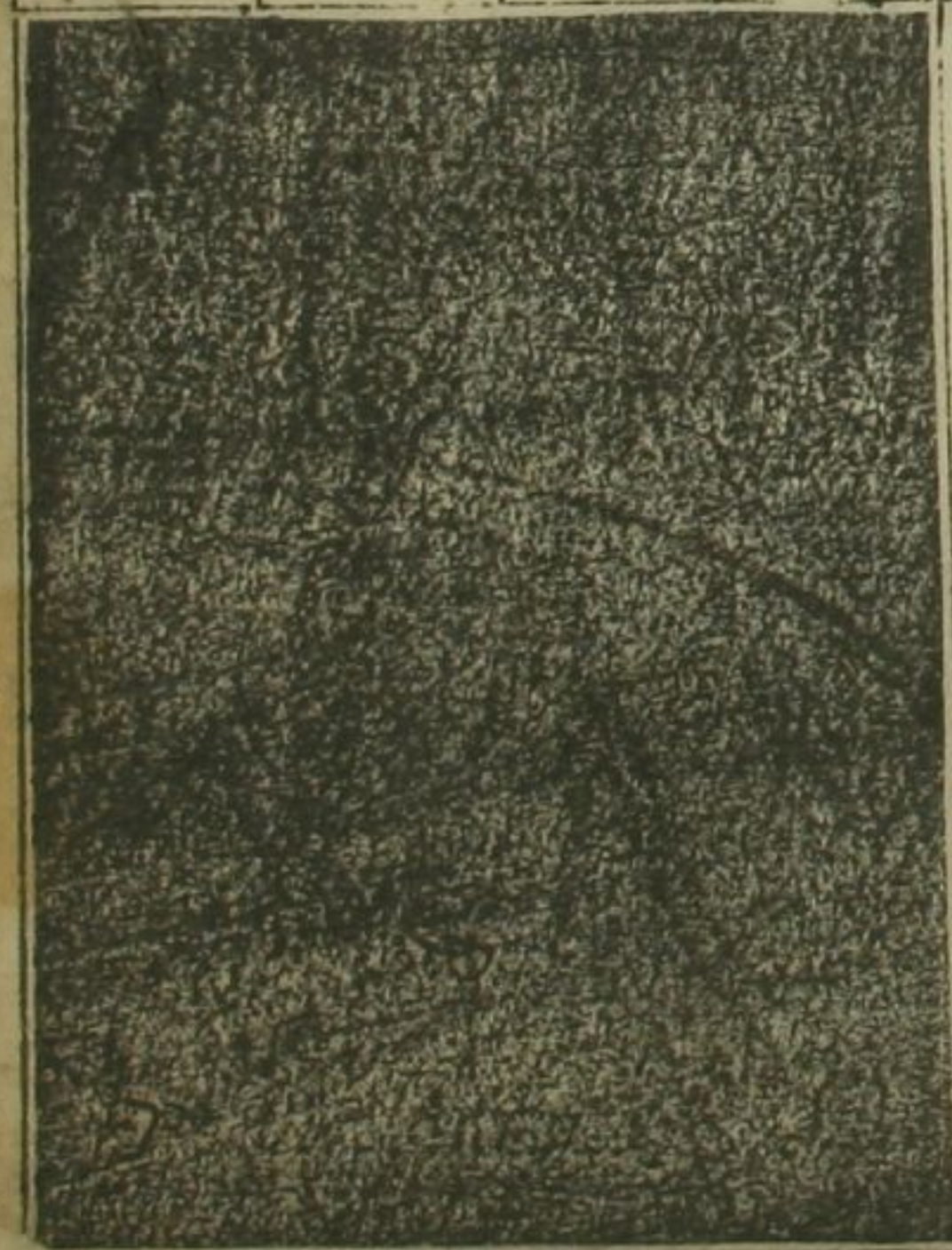
水乃音 春ひ

芭蕉翁奇仙春と秋 桃鏡

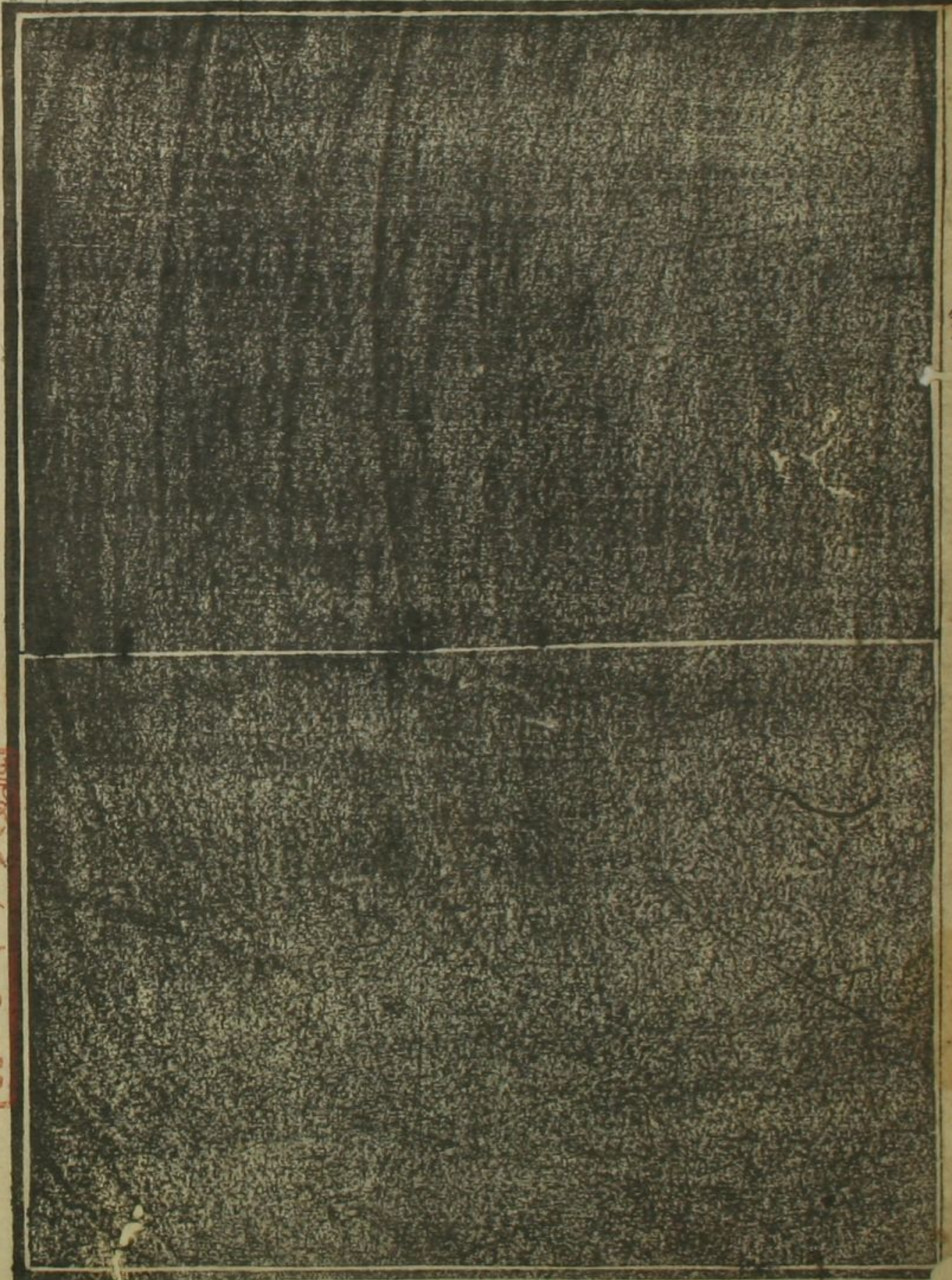
ちの〜乙兒休

糸山彦 六花菴選

虫勸進 六花菴門人蛙音著



目錄



藏書之印
卷之六

印

玄夫

印

印

印

